

公益財団法人こころのバリアフリー研究会

Newsletter No.12

2021.3.31

会員みなさまへ

(財)こころのバリアフリー研究会 理事長

秋山 剛

緊急事態宣言は解除されましたが、コロナについては、第4波、第5波の懸念が消えません。日本国内でワクチンを製造していないこと、諸外国に比べれば日本の状況が比較的落ち着いていることから、外国から十分な量のワクチンを輸入できるのに、少し時間がかかりそうです。中鉢さんからのお便りにあるように、この事態が、みなさんのこころバリアフリー活動に、様々な支障を起こしているのではないかと心配です。ワクチンが、日本の国民全体に行き渡るのは、夏から秋になりそうな感じがします。それまでの間、将来の活動に関する計画を考えていただいたり、ネットワークを広げていただいたり、オンラインでの活動に参加していただくなどして、秋以降に、こころのバリアフリーの活動を、広く展開していただくための準備を整えておいていただければと思います。コロナによる活動の制限が続く間にも、ニュースレターなどを通じた情報の共有を進めたいと考えています。みなさんの活動に関する情報も、是非、事務局までお知らせください。



目次	1 頁	理事長からの挨拶
	2 頁	第3回こころのバリアフリー賞受賞者 おか よしこ
		第4回こころのバリアフリー賞受賞者 中鉢 皓大 (東北福祉大学メンタルヘルスプロモーションセンター)

おか よしこ

こんにちは。おかよしこ（よっちゃん）と申します。こころのバリアフリー賞を受賞させていただいた2018年以降は、以前から所属しているなんちゃってジャズバンドのなかまといっしょにジャズのライブをしたり、2019年にはわたくしが作詞・作曲した唄になんちゃってジャズバンドが演奏に加わり、CD『らてい〜にゃん』ができました。そのCDのおひろめライブもし、大阪市内外の参加者の方々が来てくださりました。昨年2月にはひとり芝居の再演をしました。コロナや更年期障害のため最近は芝居・ライブはできてはませんが、現在は新しいCDづくりをバンドなかまとしています。自分たちのライブだけでなくほかのひとのライブに行っておープンマイクの折に唄わせてもらい、拙著『精神科サバイバル！人薬に支えられて』の宣伝もします。ささやかな啓発活動みたいなものです。音楽や芝居、本などを通じていろんなひととつながることがお互いを知るきっかけとなり、いろんな垣根を越えていくたのしきがあるとわたくしは感じています。

中鉢 皓大

（東北福祉大学メンタルヘルスプロモーションセンター）

私は仙台スピーカーズビューローという精神障害に対する偏見や差別の解消を目的とした当事者による講演活動のコーディネーターを担当しております中鉢と申します。

さて、皆様の中でもこの一年話題の中心にあったのは「新型コロナウイルスへの対応」ではなかったでしょうか。この問題は生活様式を変えただけでなく、普段の業務や活動にも大きな影響を与えたのではないかと想像しております。仙台スピーカーズビューローも例に漏れず、大きな影響を受けた一年でした。



私たちは当事者の“講演活動”を中心とした活動を行っております。この講演活動は聴講者と対面形式で行われることが主でしたが、その対面が感染予防上困難となり、これまでとは異なる対策が求められていきました。当事者やスタッフ共に話し合いを重ね、その結果積極的にオンライン形式を取り入れることや、講演の様子を紹介する映像を配信する等、これまでの活動形式に加え、新たな時代に沿った変化と対応を見出すことができた一年だったと感じております。

今後も全国で活躍されている皆様の活動に触れさせて頂き、多くのことを学ばせていただければ幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。